



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月7日

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所 東
 コード番号 3836 URL <https://www.avantcorp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6864-0100
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	10,565	20.3	1,607	41.5	1,607	41.5	1,030	38.7
2018年6月期第3四半期	8,784	13.9	1,136	12.5	1,136	12.3	743	71.5

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 1,043百万円(41.2%) 2018年6月期第3四半期 738百万円(70.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	54.88	—
2018年6月期第3四半期	39.58	—

(注) 2017年11月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	9,320	5,624	60.3
2018年6月期	8,814	4,792	54.4

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 5,624百万円 2018年6月期 4,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	15.6	1,900	16.5	1,900	16.4	1,212	14.1	64.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年6月期3Q	18,785,094株	2018年6月期	18,776,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	1,378株	2018年6月期	1,349株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年6月期3Q	18,780,065株	2018年6月期3Q	18,774,671株

(注) 2017年11月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 7ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2018年10月19日付けで譲渡制限付株式報酬として新株式を発行いたしました。当該新株式発行を反映した期中平均株式数を基に1株当たり (予想) 当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）における連結業績は以下のとおりです。

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2018年6月期 第3四半期	2019年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	8,784	10,565	1,781	20.3
営業利益	1,136	1,607	471	41.5
経常利益	1,136	1,607	471	41.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	743	1,030	287	38.7

連結売上高に関しては、連結会計関連事業、ビジネス・インテリジェンス事業、アウトソーシング事業の3事業すべてが順調に伸長した結果、10,565百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。一方、2018年9月に発表した新中期経営計画において、経営目標のひとつとして掲げたストック売上（例えばソフトウェアの保守料など、継続的に発生する売上）比率の向上については、当第3四半期にストック売上の総額は伸長したものの、大型案件を中心にストック型ではないサービス売上がそれ以上に好調であった影響で、ストック売上比率は30.6%とむしろほぼ横ばいの状況にあります。

利益に関しては、売上高が伸長したことに加え、プロジェクト品質や生産性の向上に努めたこと、売上水準の向上により固定費的な費用の割合が低下したことなどにより、3事業ともに収益性を向上できた結果、営業利益1,607百万円（前年同四半期比41.5%増）、経常利益1,607百万円（前年同四半期比41.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,030百万円（前年同四半期比38.7%増）と、いずれも増益となりました。

各報告セグメントの状況は以下のとおりです。

① 売上高

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2018年6月期 第3四半期	2019年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	5,193	6,016	823	15.9
ビジネス・ インテリジェンス事業	2,913	3,784	870	29.9
アウトソーシング事業	964	1,199	235	24.5
セグメント間取引消去	△287	△435	△148	—
連結売上高	8,784	10,565	1,781	20.3

② 営業利益

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2018年6月期 第3四半期	2019年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	631	953	322	51.1
ビジネス・ インテリジェンス事業	225	546	321	142.2
アウトソーシング事業	177	281	104	58.9
全社費用及び当社と セグメントとの取引消去等	102	△174	△276	—
連結営業利益	1,136	1,607	471	41.5

連結会計関連事業については、前連結会計年度に受注した大型案件が継続的に売上貢献していることなどにより、売上高が6,016百万円（前年同四半期比15.9%増）と増加しました。当該大型案件の収益性は若干低下傾向にあるものの、その他の案件では品質改善に努めた効果が徐々に現れ始め収益性が向上した結果、営業利益は953百万円（前年同四半期比51.1%増）となりました。

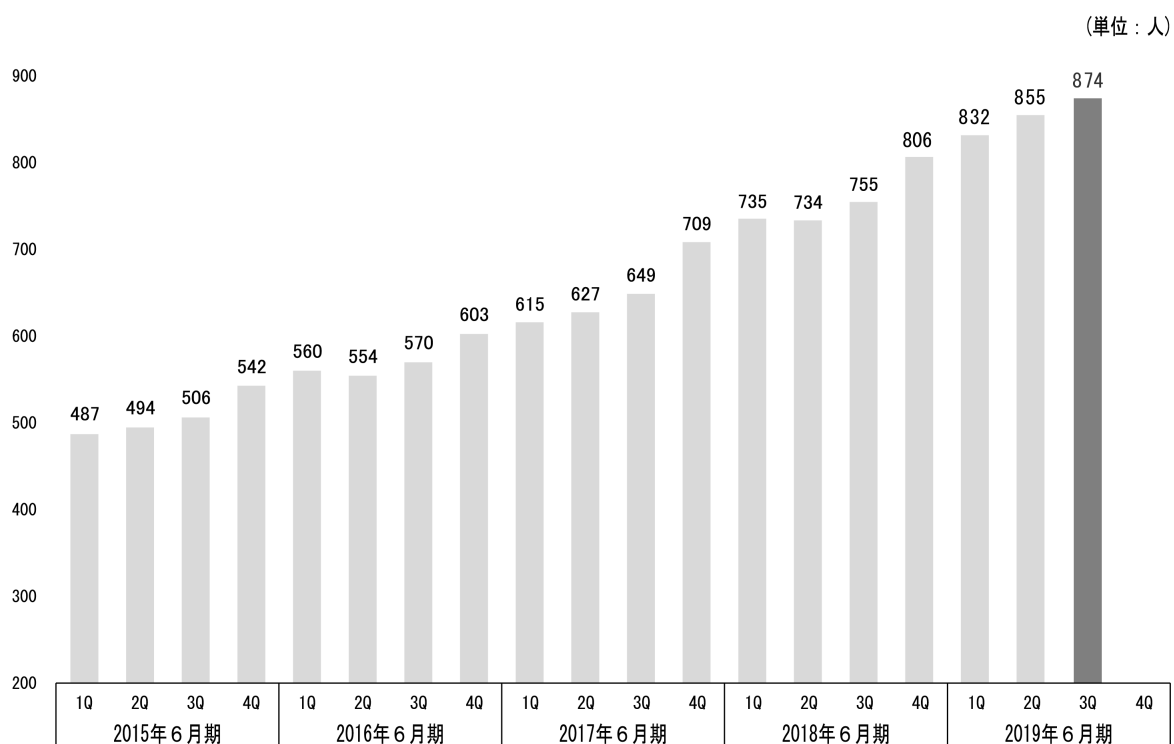
ビジネス・インテリジェンス事業についても、複数の大型案件を受注できたことなどにより、売上高は3,784百万円（前年同四半期比29.9%増）と大幅に増加しました。人員増加に伴う人件費、採用費及び新オフィスの開設などの費用は増加しているものの、収益性の高い元請け案件の比率を高めることにより、収益性が大きく改善したこと、また、準委任を主体とする契約形態への変換を進めることにより、案件の請負に伴うリスクの低減と不採算案件の発生を抑えたことが功を奏し、営業利益546百万円（前年同四半期比142.2%増）の大幅な増益を実現しました。

アウトソーシング事業についても、売上高1,199百万円（前年同四半期比24.5%増）、営業利益281百万円（前年同四半期比58.9%増）と、大幅な増収・増益となりました。

売上高のセグメント間取引消去が増加しておりますが、2017年10月よりアウトソーシング事業を分社化した際に、システムアウトソーシングについての取引形態を変更したこと、及び当社から新たに連結納税業務等のアウトソーシングを発注したことに起因しています。

なお、連結従業員数は当第3四半期末で874名となり、期初から68名増加しております。

当社グループ従業員数の四半期別推移



当第3四半期におけるセグメント別の受注及び販売の状況は次のとおりです。

① 受注実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2018年6月期		2019年6月期		前年同四半期比	
	第3四半期		第3四半期		増減額	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
連結会計関連事業	4,807	1,576	5,195	1,611	387	34
ビジネス・ インテリジェンス事業	3,148	895	3,899	1,044	751	148
アウトソーシング事業	938	474	1,122	597	183	123
セグメント間取引消去	△444	△179	△409	△177	35	1
合計	8,449	2,768	9,807	3,076	1,358	308

② 販売実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2018年6月期		2019年6月期		前年同四半期比	
	第3四半期		第3四半期		増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	5,193		6,016		823	15.9
ビジネス・ インテリジェンス事業	2,913		3,784		870	29.9
アウトソーシング事業	964		1,199		235	24.5
セグメント間取引消去	△287		△435		△148	—
合計	8,784		10,565		1,781	20.3

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

四半期毎の売上高及び営業利益の推移は次のとおりです。

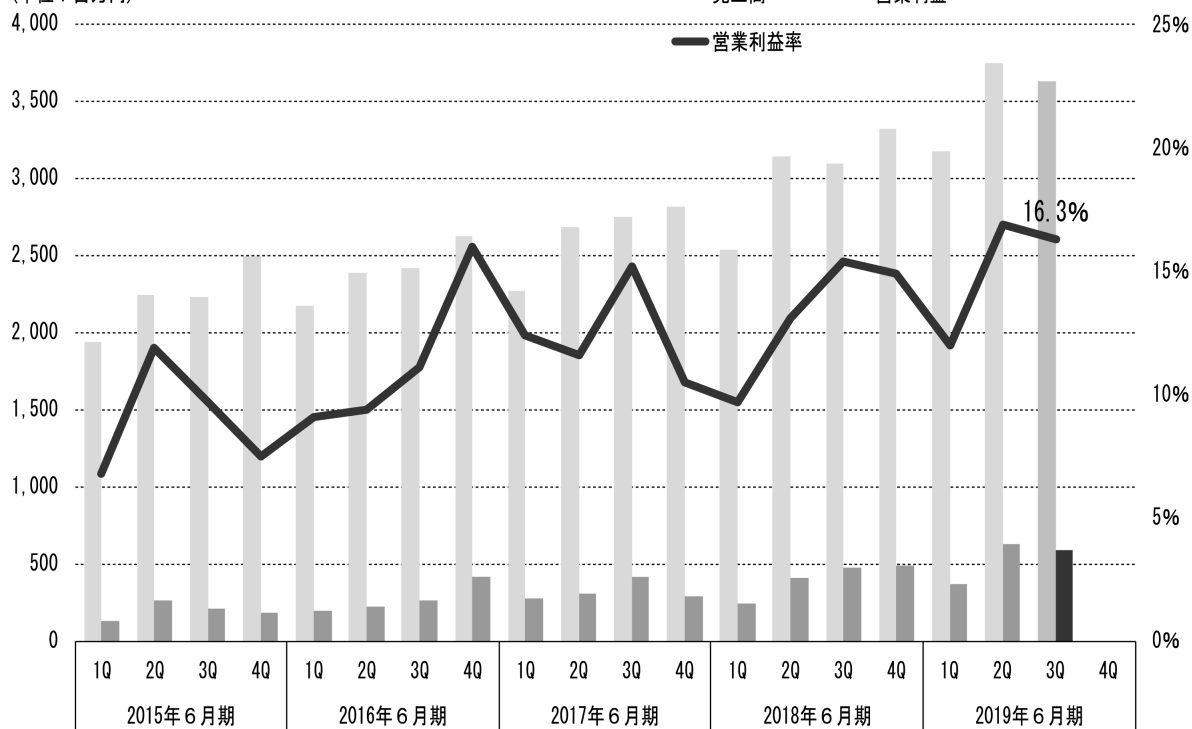
直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2018年6月期	2019年6月期		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	3,326	3,180	3,752	3,631
営業利益	494	380	634	592
営業利益率 (%)	14.9	12.0	16.9	16.3

売上高及び営業利益（営業利益率）の四半期別推移

(単位:百万円)



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、9,320百万円（前連結会計年度末比506百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払いや法人税等の納付を主な要因とした現金及び預金の減少222百万円や、売掛金及び受取手形の増加566百万円などにより、流動資産が236百万円増加したことに加え、投資有価証券の購入等による増加138百万円、オフィスの増床等による敷金及び保証金の増加72百万円などにより、固定資産が270百万円増加したことによるものです。

一方、負債合計は3,696百万円（前連結会計年度末比325百万円減）となりました。これは主に、前受収益の減少350百万円、未払法人税等の減少236百万円の反面、支払手形及び買掛金の増加127百万円、未払金及び未払費用の増加126百万円などにより、流動負債が329百万円減少したことによるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益1,030百万円の計上と剰余金の配当225百万円の支払いにより、5,624百万円（前連結会計年度末比831百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は60.3%（前連結会計年度末は54.4%）と、前連結会計年度に比べ5.9%向上する一方、有利子負債もなく安定性の高い財務バランスを保っていると考えております。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ189百万円減少し、4,376百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、264百万円となりました。（前年同四半期は114百万円の獲得）

増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,639百万円、固定資産の償却費117百万円、未払金及び未払費用の増加額113百万円、賞与引当金の増加額42百万円であり、減少要因の主な内訳は、法人税等の支払額792百万円、売上債権の増加額566百万円、前受収益の減少額350百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、223百万円となりました。（前年同四半期は327百万円の使用）

支出の主な内訳は、投資有価証券の取得90百万円、敷金及び保証金の差入72百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、230百万円となりました。（前年同四半期は183百万円の使用）

支出の主な内訳は、配当金の支払額225百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想については、当第3四半期の業績の進捗状況を勘案し、2018年8月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年5月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社では、2018年9月に2023年6月期までの中期経営計画「BE GLOBAL 2023」を公表し、この実現を目指して、各事業とも、プロジェクト品質の向上や業務の自動化等による生産性の向上を図りながら、継続的な成長を推進しております。

その一方で、新たな製品の開発や新規事業の創出、ビジネスモデルの転換など、当社を取り巻く環境変化に対応するための支出、あるいは将来の企業価値向上に資すると考えられる支出は、人員の採用を含めて積極的に実行しており、今後も継続してまいります。また、連結会計関連事業の売上成長の原動力となっている大型案件については、将来の製品力やプロジェクト管理力の強化、並びに新たなソリューション開発に直結する案件として、一時的な収益性の低下があるとしても完遂することを重視して取り組んでおります。

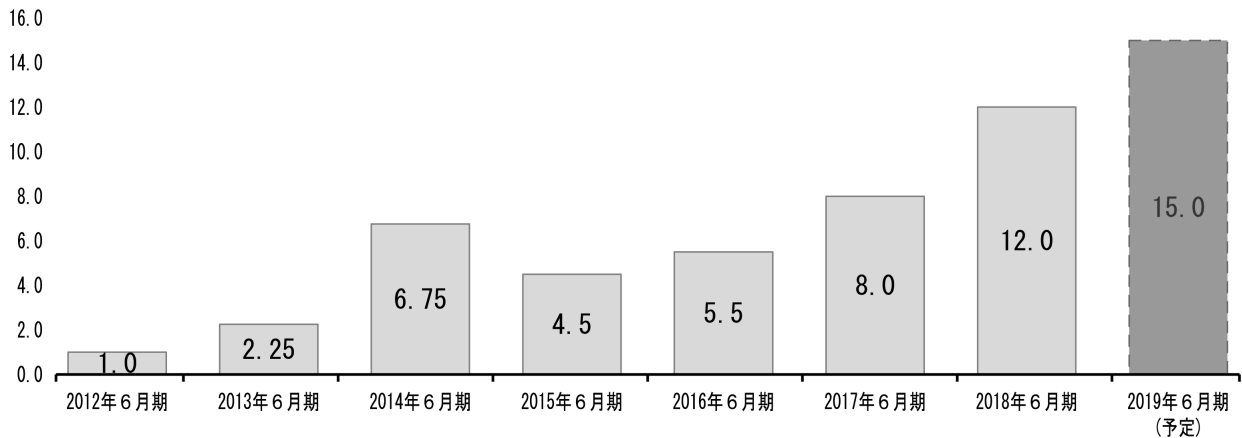
これらの結果として当連結会計年度は、売上高14,000百万円(前連結会計年度比15.6%増)及び営業利益1,900百万円(同16.5%増)の達成を予想しております。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

また、配当予想につきましては、2018年8月3日に公表いたしました配当予想の数値から変更はありません。

配当金の推移(株式分割調整後)

(単位:円)



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,564,255	4,341,363
受取手形及び売掛金	2,013,110	2,579,239
有価証券	33,217	—
仕掛品	106,290	120,505
原材料及び貯蔵品	4,397	15,416
その他	559,725	462,557
貸倒引当金	△3,444	△5,339
流動資産合計	7,277,553	7,513,743
固定資産		
有形固定資産	222,425	233,125
無形固定資産		
ソフトウェア	171,964	158,181
その他	821	792
無形固定資産合計	172,785	158,974
投資その他の資産		
投資有価証券	274,536	413,460
敷金及び保証金	475,123	547,648
繰延税金資産	314,479	357,440
その他	87,963	106,171
貸倒引当金	△10,576	△9,591
投資その他の資産合計	1,141,525	1,415,129
固定資産合計	1,536,737	1,807,228
資産合計	8,814,290	9,320,972

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	434,099	561,214
リース債務	3,127	3,504
未払金及び未払費用	342,710	469,708
未払法人税等	422,738	186,605
前受収益	1,674,694	1,324,509
賞与引当金	561,766	604,255
役員賞与引当金	114,483	61,630
受注損失引当金	4,310	1,379
その他	313,096	329,172
流動負債合計	3,871,026	3,541,980
固定負債		
リース債務	8,934	7,745
資産除去債務	141,867	147,094
固定負債合計	150,801	154,840
負債合計	4,021,828	3,696,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	295,525
資本剰余金	225,200	232,325
利益剰余金	4,270,775	5,075,704
自己株式	△301	△329
株主資本合計	4,784,074	5,603,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,124	20,152
繰延ヘッジ損益	37	31
為替換算調整勘定	226	741
その他の包括利益累計額合計	8,388	20,925
純資産合計	4,792,462	5,624,151
負債純資産合計	8,814,290	9,320,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	8,784,085	10,565,237
売上原価	5,101,828	5,758,719
売上総利益	3,682,256	4,806,518
販売費及び一般管理費	2,545,777	3,198,858
営業利益	1,136,479	1,607,659
営業外収益		
受取利息	539	406
受取配当金	2,325	1,798
為替差益	—	685
事業譲渡益	4,999	—
助成金収入	—	990
その他	981	420
営業外収益合計	8,846	4,300
営業外費用		
支払利息	176	115
投資事業組合運用損	—	960
支払手数料	2,051	1,987
為替差損	2,245	—
株式交付費	—	942
損害賠償金	4,351	120
営業外費用合計	8,824	4,126
経常利益	1,136,501	1,607,833
特別利益		
受取和解金	20,000	31,200
特別利益合計	20,000	31,200
税金等調整前四半期純利益	1,156,501	1,639,033
法人税、住民税及び事業税	416,596	657,229
法人税等調整額	△3,180	△48,927
法人税等合計	413,415	608,302
四半期純利益	743,085	1,030,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	743,085	1,030,731

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	743,085	1,030,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,645	12,028
繰延ヘッジ損益	△7	△6
為替換算調整勘定	△6,873	515
その他の包括利益合計	△4,234	12,537
四半期包括利益	738,851	1,043,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	738,851	1,043,268
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,156,501	1,639,033
減価償却費	86,975	117,465
のれん償却額	28,275	—
株式報酬費用	—	2,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,591	909
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,174	42,488
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,901	△52,852
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△23,850	△2,930
受取利息及び受取配当金	△2,865	△2,205
事業譲渡損益(△は益)	△4,999	—
支払利息	176	115
支払手数料	2,051	1,987
株式交付費	—	942
損害賠償金	4,351	120
受取和解金	△20,000	△31,200
投資事業組合運用損益(△は益)	—	960
売上債権の増減額(△は増加)	△270,937	△566,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	△50,968	△25,233
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,859	127,115
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	81,102	113,010
前受収益の増減額(△は減少)	△303,159	△350,184
その他	△19,964	7,637
小計	521,341	1,023,456
利息及び配当金の受取額	2,882	2,358
利息の支払額	△152	△115
損害賠償金の支払額	△4,351	△120
和解金の受取額	20,000	31,200
法人税等の支払額	△425,459	△792,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,259	264,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	33,780
有形固定資産の取得による支出	△37,104	△69,868
無形固定資産の取得による支出	△134,712	△22,280
投資有価証券の取得による支出	△131,393	△90,911
敷金及び保証金の差入による支出	△27,442	△72,663
保険積立金の積立による支出	△4,459	△4,459
事業譲渡による収入	5,000	—
その他	2,353	2,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,760	△223,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,830	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,311	△2,542
支払手数料の支出	△2,119	△1,878
自己株式の取得による支出	△24	△27
配当金の支払額	△150,197	△225,295
その他	—	△942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,483	△230,686

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,099	△44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△403,082	△189,978
現金及び現金同等物の期首残高	3,947,673	4,566,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,544,591	4,376,897

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から連結納税制度を適用しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,189,969	2,852,587	741,528	8,784,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,203	61,275	222,653	287,132
計	5,193,172	2,913,863	964,181	9,071,217
セグメント利益	631,383	225,831	177,032	1,034,247

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,034,247
当社とセグメントとの取引消去額	799,168
全社費用(注)	△696,937
その他	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,136,479

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,995,997	3,742,717	826,523	10,565,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,000	41,424	373,425	435,850
計	6,016,997	3,784,141	1,199,948	11,001,087
セグメント利益	953,892	546,939	281,374	1,782,207

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,782,207
当社とセグメントとの取引消去額	523,117
全社費用(注)	△686,878
その他	△10,786
四半期連結損益計算書の営業利益	1,607,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。